

令和7年度 八千代市焼却施設の維持管理記録

1. 処分した廃棄物の各月ごとの種類及び数量

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
種 類		一般廃棄物	一般廃棄物	一般廃棄物	一般廃棄物								
1 号 炉	数 量(トン)	1,031.32	595.62	1,187.90	1,137.34	899.56	1,216.87	596.65	1,290.64	1,300.37			
	運転時間(h)	551	324	681	665	526	720	355	720	729			
	稼働日数(日)	25	14	30	31	24	30	17	30	31			
	燃烧ガス温度(°C) 常時測定平均値	914	927	919	921	919	919	919	916	915			
	集じん器流入ガス温度(°C) 常時測定平均値	185	185	185	185	185	185	185	185	185			
	一酸化炭素濃度(ppm) 常時測定平均値	53.4	54.4	47.3	41.4	39.9	37.1	27.5	20.6	27.9			
2 号 炉	数 量(トン)	1,167.24	1,339.77	404.74	1,130.40	949.79	1,232.29	1,218.84	687.53	1,322.63			
	運転時間(h)	674	722	225	653	551	720	694	382	727			
	稼働日数(日)	30	31	12	31	25	30	30	17	31			
	燃烧ガス温度(°C) 常時測定平均値	939	942	943	943	941	940	935	938	934			
	集じん器流入ガス温度(°C) 常時測定平均値	185	185	185	185	185	185	185	185	185			
	一酸化炭素濃度(ppm) 常時測定平均値	33.9	44.4	42.7	40.2	34.6	46.1	54.5	36.0	39.8			
3 号 炉	数 量(トン)	2,258.02	922.54	1,629.62	2,108.61	2,078.32	1,259.76	2,148.79	1,990.13	635.22			
	運転時間(h)	720	298	535	696	719	450	744	720	237			
	稼働日数(日)	30	13	23	31	31	19	31	30	11			
	燃烧ガス温度(°C) 常時測定平均値	971	967	968	971	965	966	964	965	962			
	集じん器流入ガス温度(°C) 常時測定平均値	171	172	171	171	173	174	175	183	174			
	一酸化炭素濃度(ppm) 常時測定平均値	3.1	2.8	6.9	2.1	11.4	0.5	0.6	1.3	2.6			

2. 冷却設備及び排ガス処理設備にたい積した飛灰(ばいじん)の除去

冷却設備及び排ガス処理設備にたい積した飛灰は、コンベアで排出し、随時除去されている。

2-1. 1・2号炉から灰処理設備への運搬数量等

1・2号炉から除去された飛灰は、ダストバンカに貯留された後に、粉体運搬車両で3号炉に併設されている灰処理設備へと運搬される。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
数量(トン)	136.16	105.02	80.38	119.44	98.21	133.32	101.67	98.46	151.12			
回数	82	73	64	81	73	90	73	75	92			

2-2. 灰処理設備から最終処分場への運搬数量等

3号炉から除去された飛灰はコンベアにて灰処理設備へ搬送され、1・2号炉から運搬された飛灰と一緒に熱分解処理、重金属固定薬剤処理およびセメント固化処理を行い最終処分場へダンプ車両で運搬し埋立処分される。また、灰処理設備で処理された飛灰の一部は、外部へ搬出し、資源化している。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最終処分場への運搬数量(トン)	264.93	186.99	0.00	225.22	210.26	190.99	168.00	175.87	167.58			
埋立回数	76	52	0	63	52	52	46	47	43			
外部搬出数量(トン)	0.00	0.00	123.79	0.00	0.00	0.00	19.05	19.23	9.90			
搬出回数	0	0	13	0	0	0	2	2	2			

3. 排ガス測定結果

大気汚染防止法により各焼却炉の排ガス測定を行っている。(採取場所:各煙突)

施設	項目	単位	結果						基準
1号炉	採取日		5月21日	9月10日	11月5日				-
	報告日		6月2日	9月24日	11月14日				-
	排ガス量(乾き)	Nm ³ /h	30,800	30,000	29,900				-
	ばいじん(12%O ₂ 換算値)	g/Nm ³	<0.002	<0.003	<0.002				0.15
	硫黄酸化物	Nm ³ /h	<0.03	0.03	<0.03				-
	硫黄酸化物基準	Nm ³ /h	45.31	45.27	44.55				-
	窒素酸化物(12%O ₂ 換算値)	ppm	57	82	84				250
塩化水素(12%O ₂ 換算値)	mg/Nm ³	4	5	2				700	
2号炉	採取日		7月30日	9月17日	12月2日				-
	報告日		8月18日	10月1日	12月17日				-
	排ガス量(乾き)	Nm ³ /h	29,400	28,300	27,500				-
	ばいじん(12%O ₂ 換算値)	g/Nm ³	<0.002	<0.002	<0.002				0.15
	硫黄酸化物	Nm ³ /h	<0.03	0.03	<0.03				-
	硫黄酸化物基準	Nm ³ /h	45.66	44.96	45.06				-
	窒素酸化物(12%O ₂ 換算値)	ppm	61	70	52				250
塩化水素(12%O ₂ 換算値)	mg/Nm ³	7	4	4				700	
3号炉	採取日		4月16日	6月19日	8月6日	10月15日			-
	報告日		4月23日	6月27日	8月20日	10月27日			-
	排ガス量(乾き)	Nm ³ /h	36,400	39,500	41,600	34,300			-
	ばいじん(12%O ₂ 換算値)	g/Nm ³	0.005	<0.002	0.006	<0.002			0.04
	硫黄酸化物	Nm ³ /h	<0.04	<0.04	<0.04	<0.03			-
	硫黄酸化物基準	Nm ³ /h	46.88	50.49	51.53	46.76			-
	窒素酸化物(12%O ₂ 換算値)	ppm	54	41	28	32			250
塩化水素(12%O ₂ 換算値)	mg/Nm ³	11	2	6	5			700	

4. ダイオキシン類測定結果

ダイオキシン類対策特別措置法により各焼却炉の排ガスおよび灰類の測定を行っている。

施設	項目	単位	結果				基準
1号炉	採取日		5月22日	9月11日	11月6日		-
	報告日		6月16日	10月9日	12月5日		-
	排ガス中 ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm ³	0.130	0.70	0.22		5
2号炉	採取日		7月31日	9月18日	12月18日		-
	報告日		8月27日	10月9日	1月21日		-
	排ガス中 ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm ³	0.010	0.036	0.043		5
3号炉	採取日		4月17日	8月7日	10月16日		-
	報告日		5月12日	9月3日	11月14日		-
	排ガス中 ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm ³	0.020	0.0070	0.00029		0.1
動物炉	採取日		11月21日				-
	報告日		12月17日				-
	排ガス中 ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm ³	0.24				5
成形品※	採取日		8月7日				-
	報告日		9月3日				-
	灰類中 ダイオキシン類	ng-TEQ/g-dry	0.250				3
主灰※	採取日		8月7日				-
	報告日		9月3日				-
	灰類中 ダイオキシン類	ng-TEQ/g-dry	0.0010				3

※採取場所については、排ガス:各煙突、主灰:3号炉主灰コンベア、成形品:灰処理設備成形品コンベア

※主灰 : 焼却灰は排ガス中に含まれる飛灰(ばいじん)と炉内に残る主灰に分かれる。当センターでは炉の形式により3号炉のみで発生する。

※成形品 : 1, 2および3号炉の飛灰をまとめて灰処理設備にて熱分解処理、重金属固定薬剤処理およびセメント固化処理を行い埋立処分できるようにしたもの。